

明るい選挙啓発ポスター優秀賞決定 町明るい選挙推進協議会

町明るい選挙推進協議会の「明るい選挙啓発ポスター」の募集に、小・中学校の児童・生徒の皆さんから106点の応募があり、9月9日に開かれた審査会において、次の皆さんの作品15点が優秀賞に選ばれました。

なお、この作品は県選挙管理委員会主催のコンクールに出品されます。

(敬称略)

【小学生の部】

竹中 萌華(笠松小5年生) 田島由紀乃(下羽栗小6年生)
堀 桃歌(笠松小5年生) 高橋 楓(下羽栗小6年生)
大川 千晴(笠松小6年生) 都築 萌(下羽栗小6年生)
道家 浩圭(松枝小6年生) 野垣 共香(下羽栗小6年生)
岩田 響希(下羽栗小6年生) 松原千香子(下羽栗小6年生)



選挙ポスターを審査する委員

【中学生の部】

大野 駿真(笠松中2年生) 梅村 詩音(笠松中2年生)
赤塚 浩明(笠松中2年生) 吉井 風香(笠松中3年生)
岡崎百合恵(笠松中2年生)

伝統を受け継ぐ子どもたち

円城寺の芭蕉踊



芭蕉を背負い、鉦や太鼓を打ちながら踊りを披露する子どもたち

毎年恒例の「円城寺の芭蕉踊」が8月22日、円城寺の秋葉神社の祭礼に奉納されました。

この芭蕉踊は、江戸時代から雨乞いの踊りとして円城寺の人たちによって、その伝統が受け継がれています。

平成元年に岐阜県重要無形民俗文化財の指定を受け、現在は円城寺芭蕉踊保存会が中心となり継承に努めています。踊り手は地元の小学生たちで、背丈以上に長く重い芭蕉を背負い、歌と横笛にあわせて、鉦や太鼓を打ちながら踊ります。

保存会の方の指導を受け、この日に向けて練習を重ねてきた小学生たちは、祭礼に訪れた多くの人の前で見事な踊りを披露しました。

十二支大型土鈴 寄贈

宮崎 惇さん

9月1日に宮崎惇さん(米野)から、町の芸術文化向上と歴史民俗資料館収蔵の十二支庶民文化財の充実にと、因州若桜焼十二支大型土鈴の寄贈がありました。

土鈴一つ一つに町のマスコットキャラクター「かさまるくん かさまるちゃん」が描かれている特注品です。

今後、歴史民俗資料館で開催される「干支展」で展示し、多くの皆さんにご覧いただく予定です。



かさまる兄妹が描かれた十二支の土鈴を広江町長に手渡す宮崎さん